

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	666	内水面漁業振興経費	01	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を实践する。	06	06	農林業費
担当部課名		産業振興部 農林政策課	01	01	農業費
作成者氏名	光岡 菊郎	連絡先	03	03	農業振興費
		22-9666	101	101	農業振興経費
			07	07	内水面漁業振興経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
事業の目的	内水面漁業連絡協議会 市民	市内木津川本流域における淡水漁業の振興を図りながら、市庁関係部署(振興・環境・建設)と調整して河川環境の保全と「魚の住める川づくり」に努めます。 3専門部会の調整を図り、漁業権の設定された河川の自然環境の保持を図ることができるとともに、関係団体との融合で事業を円滑に推進できま				
本年度事業内容	・伊賀市(上野・島ヶ原地域)内水面漁業連絡協議会の開催 ・稚魚放流事業 3ヶ所 保育園児等参加					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	132	133	133
需用費	100	93	93
使用料及び賃借料	32	40	40
その他			
合計(A+B)	852	853	853
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	852	853	853
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
伊賀市(上野・島ヶ原地域)内水面漁業連絡協議会	回	2	2	2			
稚魚放流事業	ヶ所	3	4	4			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
稚魚放流事業の実施か所数	稚魚放流事業の実施は、児童や保護者への河川環境教育の一助となります。	ヶ所	3 目標 (3)	4	4
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

河川環境では市民の美化認識が高まり、美化運動が実施されているものの、河川への放流される水質は基準値内であっても量的問題から向上が進んでいません。
動植物の生息できる河川改良工法についても財源的な制約から十分でないと思われます。

評価	必要性	4	漁業権がややもすれば優先されますが、河川環境改善意識の高揚対策が必要です。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	2		